



最新鋭の放射線装置を導入しました

～デジタルマンモグラフィ・フラットパネルディテクター～

デジタルマンモグラフィ

最新の機能を搭載したデジタルマンモグラフィ「富士フィルムメディカル社製：AMULET Innovality」を導入しました。

この装置は最新のデジタル式マンモグラフィ装置で高感度のフラットパネル型ディテクター（FPD）を搭載しており、**従来より更に少ないX線量（被ばくの低減）で高精細な画像を撮影することが可能**となります。

また画像診断に画期的な診断能の向上をもたらす3Dマンモグラフィ“トモシンセシス”という断層撮影機能も搭載しており、薄くスライスした画像を撮影することができるため、従来では乳腺の重なりにより病変の診断が難しい乳房においても、**組織の重なりの影響を受けにくくなるため、病変をより正確に描出することができます。**

X線受像面にフラットパネルを使用しているためX線利用効率が向上し、通常の2Dマンモグラフィに加えて3Dマンモグラフィを撮影しても当院従来撮影と同程度の被ばく線量で撮影が可能です。

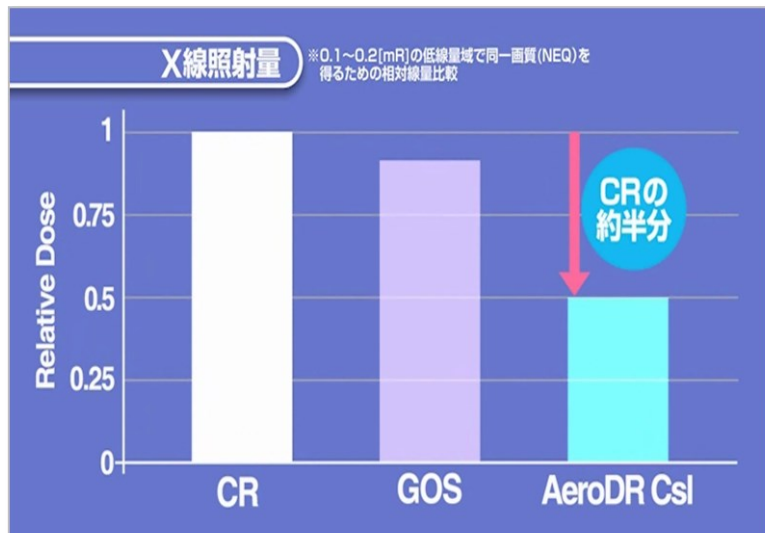
圧迫時の痛みを軽減する工夫をした圧迫板も装備しており、患者さんの苦痛を減らし診断しやすい画像を提供いたします。撮影は女性技師が担当しております。安心して検査をお受けください。

ご不明な点がございましたら放射線部にお気軽にお尋ね下さい。



低被曝のX線撮影装置 フラットパネルディテクター

一般的なCslモデルの被曝線量比較



「コニカミノルタ社製：AeroDR」を導入しました。

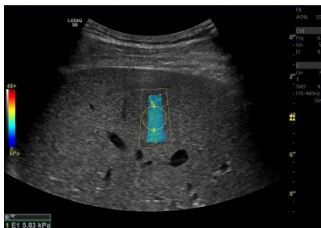
従来のCRと比較し、高画質化が期待でき、従来のCR装置よりも**約30%から50%患者さんの被ばく低減**（線量低減）にもつながります。高感度化を実現し、さらなる被曝低減を目指します。

CRに比較して
X線照射量を
約50% 低減可能

エコーで肝臓の線維化の程度が評価できます

肝線維化診断は病態の把握や発がん予測のために重要です。現在、肝線維化診断のゴールドスタンダードは肝生検ですが侵襲的な検査です。

近年、非侵襲的で客観的な肝線維化評価法として超音波診断装置で検査可能なせん断波エラストグラフィ（shear wave elastography）が注目を集めています。せん断波エラストグラフィの有用性としては、**肝硬変や肝線維化の程度の診断・ウイルス性肝炎の発がんリスクの予測などが多数報告されています**。今後増加する抗ウイルス治療後の経過観察にも有用です。また、脂肪性肝疾患においては非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）が肝硬変や肝臓に進行するため非常に注目されており、NASHの予後には線維化が最も関与するとされ、せん断波エラストグラフィでの線維化評価は重要な意味を持つと考えます。



この度、佐藤病院検査部に超音波エラストグラフィによる肝臓の硬さに関する情報の提供について薬機法の認証を取得した超音波診断装置が導入されました。2020年1月から稼働しており、対象症例にはせん断波エラストグラフィを実施しています。ご質問や検査のご依頼などございましたら、地域医療連携室までお気軽にご連絡ください。

患者さんご紹介の流れ

【通常のご紹介の場合】

1. 診療・検査のご依頼

FAXで「診察及び検査予約申込書」を地域医療連携室へ送信下さい。
お電話でも結構です。

地域医療連携室 直通TEL 072-809-5770

地域医療連携室 直通FAX 072-809-5771

2. 予約のお知らせ

連携室では各診療科との調整のうえ、「予約通知書」をFAXで返信いたします。

3. 患者さん持参書類等

患者さんは診察予約の日時に「予約通知書」「診療情報提供書」「保険証」をご持参のうえ、地域医療連携室または初診カウンターにお声をかけてください。診察室等へご案内いたします。

4. ご報告

検査のご報告は原則として翌日（夜診帯の検査の場合は翌々日）、持参又は郵送させていただきます。



社会医療法人美杉会 佐藤病院



日本医療機能評価機構 認定病院

大阪府がん診療拠点病院

573-1124 大阪府枚方市養父東町65-1

【E-Mail】chiiki@misugikai.jp【URL】http://www.misugikai.jp

■ 診療・検査のお申込みについて

地域医療連携室までご連絡ください。

■ 受付時間

平日 9時00分～20時00分

土曜 9時00分～12時00分

地域医療連携室

直通電話

072-809-5770

専用FAX

072-809-5771

受付時間帯以外のご連絡は代表番号まで

072-850-8711 (代)